

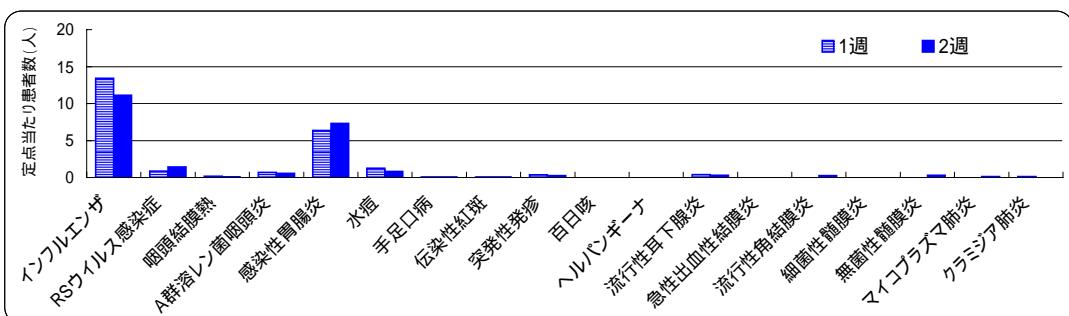
今週の感染症発生動向

インフルエンザの発生は、7週連続して減少
インフルエンザ警報は、発令継続中

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第2週)

報告はありませんでした。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



上記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(1,012名)より減少し、今週は920名となっています。今週増加した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。RSウイルス感染症は、昨年の同時期よりも多くなっており、保健所管内別の発生状況は、下記グラフのとおりです。また、減少傾向を示しているインフルエンザでは、先週の約18%減となっており、保健所管内別発生状況については別紙グラフに示すとあります。

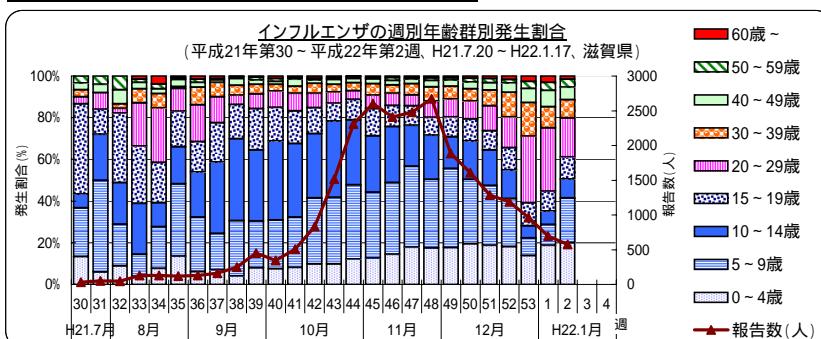
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、インフルエンザでは先週より減少しているものの、第43週(10/19~10/25)以降県内全域にインフルエンザ警報が発令されています。インフルエンザ警報の解除は、終息基準値(10.00)を超える全ての保健所管内人口の合計が、県人口全体の30%未満になった時点で解除します。

RSウイルス感染症の保健所管内別発生状



平成21年第51週から、
増加傾向を示し、53週
以降は草津からの報告
が多くなっています。

インフルエンザの週別年齢群別発生状況



平成21年第30週～平成22年第2週における年令群別発生割合は、下記のとおりです。

0 ~ 4歳	19.9%
5 ~ 9歳	21.6%
10 ~ 14歳	8.9%
15 ~ 19歳	10.5%
20 ~ 29歳	18.9%
30 ~ 39歳	8.7%
40 ~ 49歳	6.1%
50 ~ 59歳	3.8%
60歳以上	1.6%

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ことになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成22年累積報告数		平成21年累積報告数		平成20年累積報告数	
		滋賀 (2週)	全国 (1週) ^(*)1)	滋賀	全国 (*)1)	滋賀	全国 (*)1)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	3	213	252	26,253	282	28,419
三類感染症	コレラ	0	0	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	4	0	179	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	21	27	3,837	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	0	1	54	0	43
	A型肝炎	0	1	0	114	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	1	0	92	2	104
	マラリア	0	2	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	8	8	689	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	8	10	769	10	872
	ウイルス性肝炎	0	0	3	212	5	241
	急性脳炎	0	4	8	493	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	2	140	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	2	103	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	5	9	1,417	11	1,568
	ジアルジア症	0	1	0	0	1	75
	梅毒	0	3	3	676	5	839
	破傷風	0	0	3	112	5	123
	風しん	0	3	2	147	2	309
	麻しん	0	5	7	741	39	11,015
	新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)2)	0	0	138	12,405	- ^(*)3)
						- ^(*)3)	- ^(*)3)

注: 2週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

*1: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

*2: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間: 平成21年7月24日～8月24日)

*3: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したもので(定点当たり患者数 = 患者報告数 / 定点数)。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第50～平成22年第2週、12/7～1/17)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
			50週	51週	52週	53週	1週	2週	週				
			12/7～	12/14～	12/21～	12/28～	1/4～	1/11～	51	52	53	1	2
インフルエンザ	52	インフルエンザ	30.92	24.75	22.90	18.52	13.42	11.12					
小児科	31	RSウイルス感染症	0.03	0.23	0.45	1.06	0.87	1.45					
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.03	0.06	0.10	0.06	0.16	0.10					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	0.45	0.48	0.35	0.68	0.55					
		感染性胃腸炎	5.19	6.45	7.35	5.06	6.35	7.32					
		水痘	0.77	1.23	1.19	1.81	1.26	0.84					
		手足口病	0.03	0.10	0.13	0	0.03	0.03					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.06	0.03	0.03	0.03	0.03					
		突発性発しん	0.48	0.39	0.32	0.26	0.35	0.26					
		百日咳	0.03	0	0.03	0	0	0					
		ヘルパンギーナ	0	0	0	0.03	0	0					
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.13	0.13	0.19	0.19	0.39	0.29					
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
基幹	7	流行性角結膜炎	0.13	0.13	0.13	0	0	0.25					
		細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.29					
		マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0	0	0	0.14					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.14	0					

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……RSウイルス感染症、感染性胃腸炎
減少傾向……インフルエンザ

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第2週、1/11～1/17)

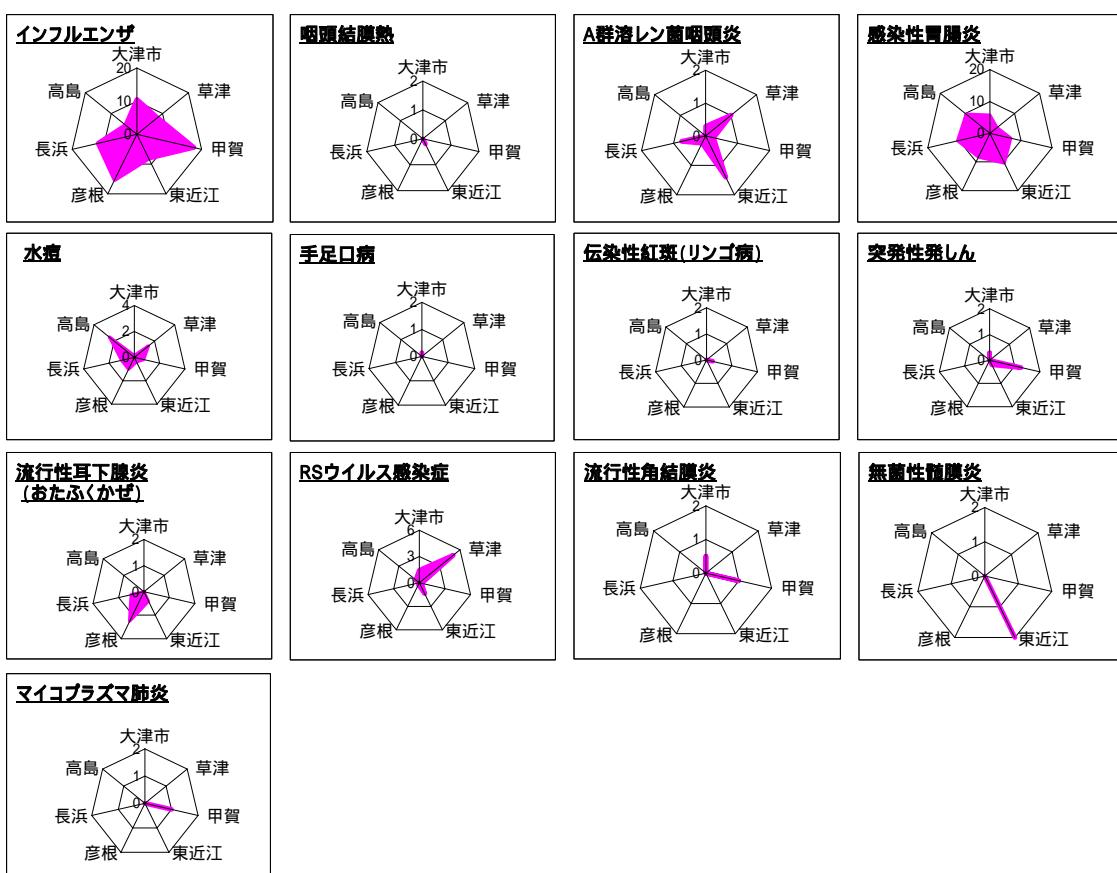
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況 (県全体)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	11.12	10.55	7.89	17.71	8.00	15.14	12.00	4.33	■
RSウイルス感染症	1.45	1.43	5.00	0.25	1.40	0.25	0	0.50	■
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.10	0	0	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.55	0.29	1.00	0.25	1.40	0.25	0.75	0	
感染性胃腸炎	7.32	5.71	2.80	6.75	10.40	8.25	10.50	9.50	■
水痘	0.84	0.14	1.40	0.75	0.40	1.00	1.00	2.50	■
手足口病	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
突発性発しん	0.26	0.29	0	1.25	0.20	0	0	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.29	0	0	0	0.40	1.25	0.50	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0.50	0	1.00	0	0	0	0	
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性結膜炎	0.29	0	0	0	2.00	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字は警報発生基準値を超えてます。

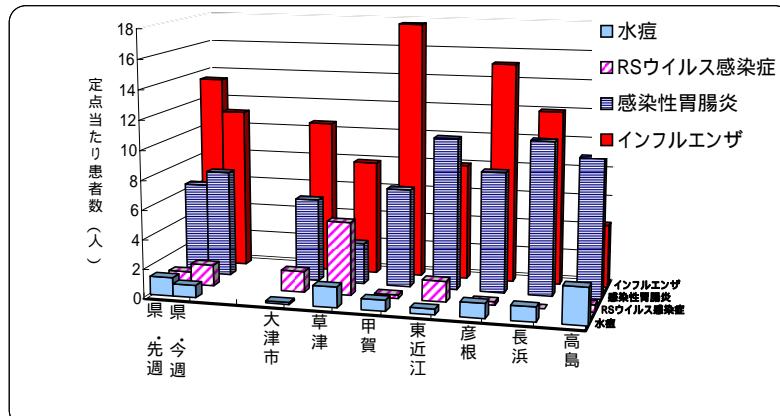
青緑・太字は注意報発生基準値を超えてます。

0 5 10 15 20
定点当たり患者数

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



上位疾患の発生状



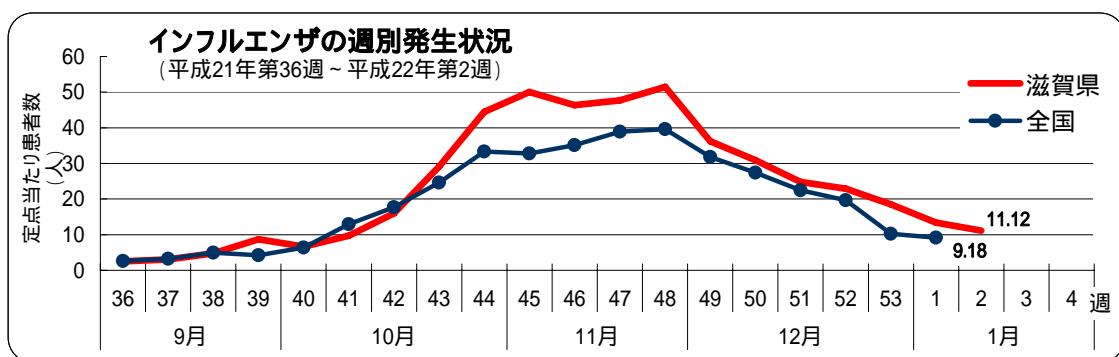
県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、

RSウイルス感染症、水痘の順に多くなっています。

インフルエンザは、大部分の保健所管内で、先週より減少していますが、草津および甲賀で微増となっています。RSウイルス感染症は、草津で先週よりかなり多くなっています。

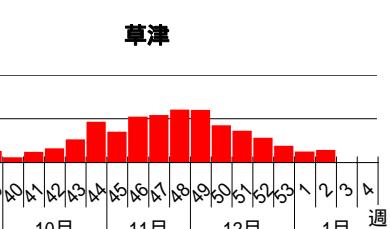
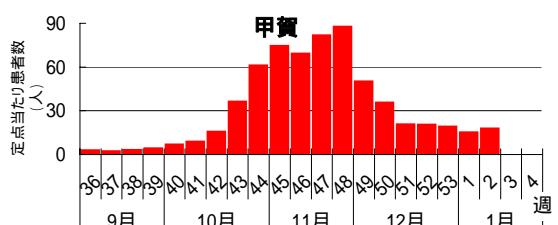
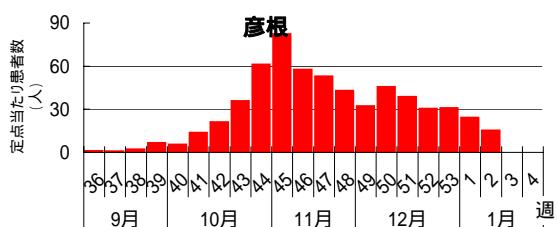
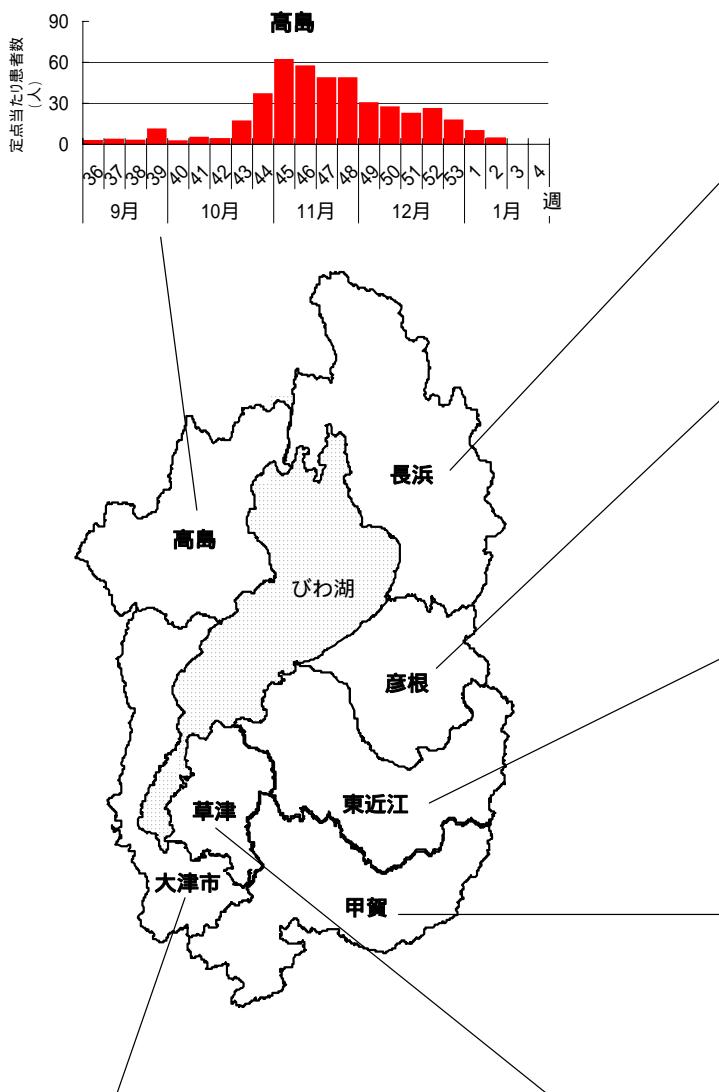
滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

滋賀県・週別発生状況

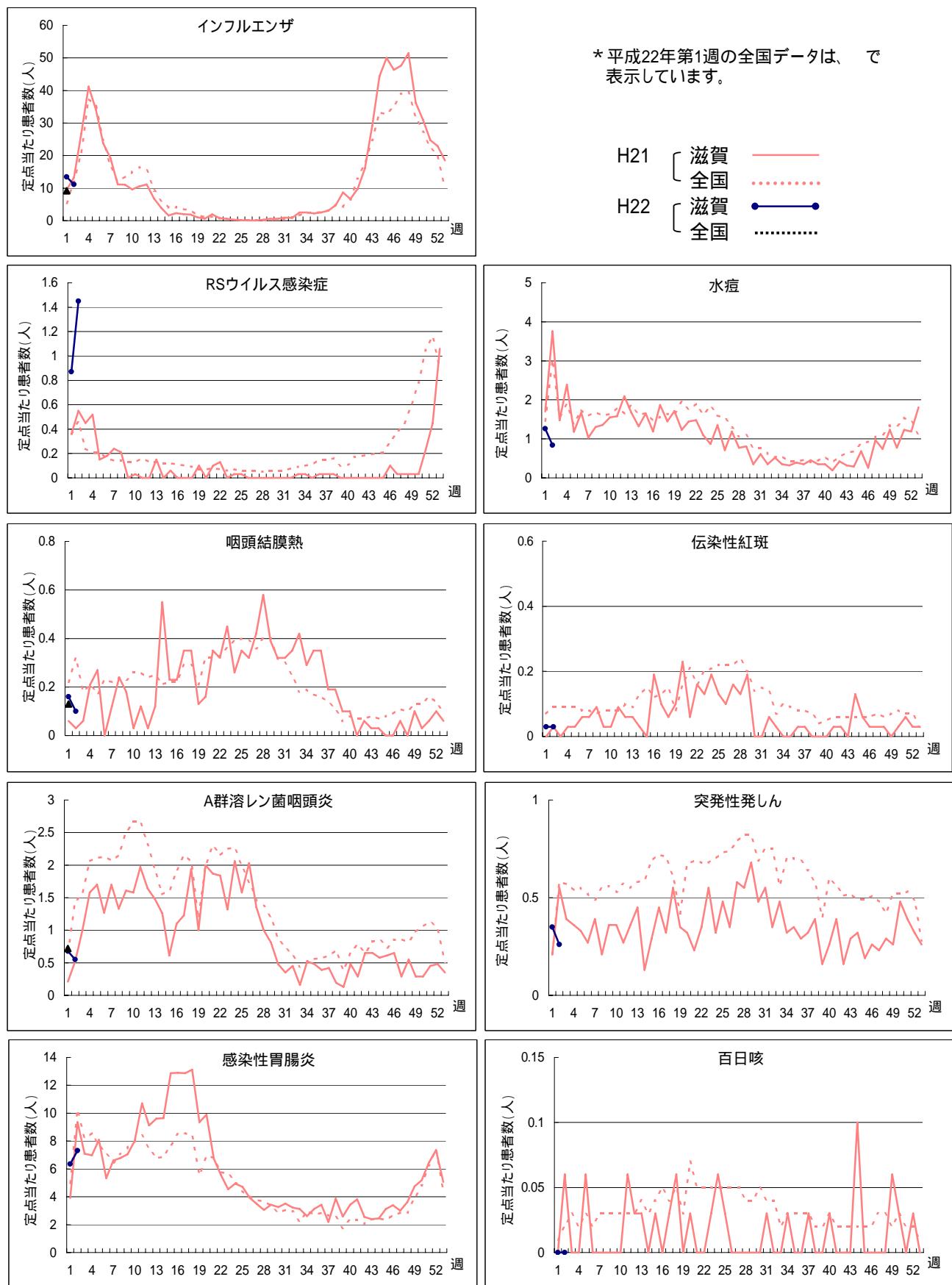


トップページに戻る

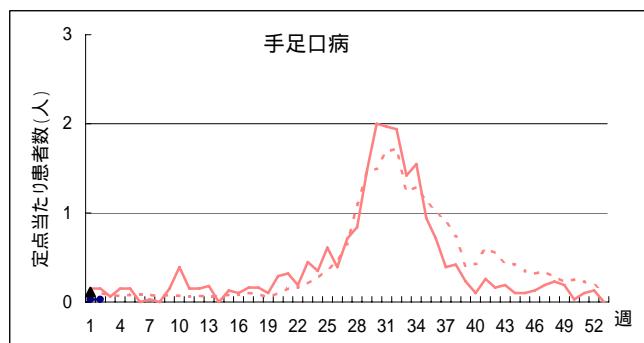
保健所管内別・調別発生状況



疾病別定点当たり患者数(平成22年第2週、H22.1.4～H22.1.17)



疾病別定点当たり患者数(平成22年第2週、H22.1.4～H22.1.17)



* 平成22年第1週の全国データは、で表示しています。

H21	[滋賀	滋賀	-----
	全国	全国
H22	[滋賀	滋賀	●——●
	全国	全国

